

## 全国平均の空き家率最高13.8%に！

総務省が30日発表した**2023年10月時点の住宅・土地統計調査**によると、全国平均の空き家率は**過去最高の13.8%**となり、18年の前回調査から0.2ポイント上昇しました。空き家の数も5年間で50万戸増の**899万戸**と**過去最多**になりました。

### ①空き家率ランキング1位は和歌山県

空き家率とは、総住宅数に占める空き家の割合のことです。都道府県別でみると**和歌山県**と**徳島県**が**21.2%**と**全国1位**となっています。3位は前回1位の山梨県**20.5%**、4位が鹿児島県**20.4%**、5位は高知県**20.3%**と続きます。空き家率ランキング10位以内に**四国の4県全て**が入っています。全体的に西日本が多いのが特徴です。また、空き家率の全国平均は**13.8%**で大阪府は**14.3%**となっています。

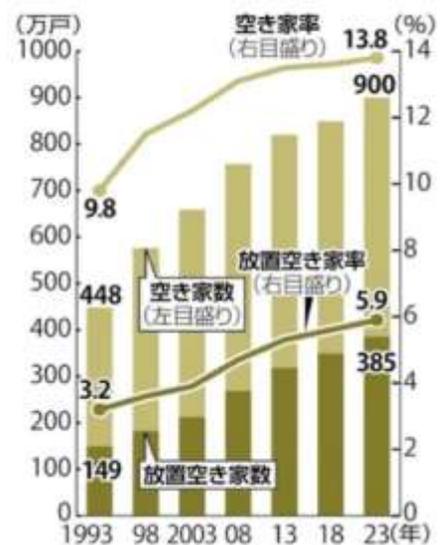
### 空き家率ランキング

1位	和歌山	21.2%
	徳島	21.2
3	山梨	20.5
4	鹿児島	20.4
5	高知	20.3
6	長野	20.0
7	愛媛	19.8
8	山口	19.4
9	大分	19.1
10	香川	18.5

### ②放置空き家は20年で1.8倍に

空き家のうち賃貸・売却用や別荘などを除いた長期にわたって不在で使用目的がない「**放置空き家**」の総住宅数に占める割合は0.3ポイント上昇の**5.9%**となり、**36万戸増の385万戸**になりました。03年からの**20年間で1.8倍**に増えました。都道府県別でみると鹿児島県が**13.6%**で最も高く、高知県が**12.9%**、徳島、愛媛県が**12.2%**となり、**西日本で高い傾向**になっています。放置空き家率は東京都**2.6%**、神奈川県**3.2%**など首都圏が軒並み低く、大都市を抱える大阪府、愛知、福岡県はいずれも**4%台**。沖縄県も**4.0%**でした。

●空き家の戸数と割合の推移



### まとめ

**放置空き家の約20%で腐朽・破損**が確認されています。また放置空き家以外の空き家（賃貸・売却用、別荘等）の戸数は約**515万戸**で、こちら管理が不十分で放置状態の空き家も含まれています。更に、近年不動産や預貯金・借金などプラス・マイナスどちらの遺産も受け継がない「**相続放棄**」が増加しており、**2022年**は全国の家裁裁判所で過去最多の**26万497件**が受理されています。この相続放棄により、放置された家屋が放置空き家となり、地域の景観を損なうだけでなく治安や衛生面での深刻な問題を引き起こしています。**空き家の問題は先延ばしにせず、専門家に相談し、早めの対策を取ることが大事**です。